

# 衆議院文部科学委員会ニュース

【第 211 回国会】令和 5 年 5 月 24 日（水）、第 14 回の委員会が開かれました。

- 1 特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 35 号）（参議院送付）
  - ・永岡文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
  - ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。（賛成－自民、立憲、維新、公明、国民、共産）
  - ・中村裕之君外 4 名（自民、立憲、維新、公明、国民）から提出された附帯決議案について、森山浩行君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
  - ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。（賛成－自民、立憲、維新、公明、国民、共産）
  - （質疑者）平林晃君（公明）、柚木道義君（立憲）、梅谷守君（立憲）、早坂敦君（維新）、西岡秀子君（国民）、宮本岳志君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

## 平林晃君（公明）

特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律の一部を改正する法律案について

- ア 立法の目的及び趣旨
- イ ナノテラス（特定先端大型研究施設）について
  - a ビームラインの増設に関する整備方針
  - b 先端大型研究施設の要件の一つである「比類のない性能」を維持するための施設の恒常的な改善に係る措置の検討状況
  - c 人材の育成に係る取組状況
- ウ 登録施設利用促進機関による施設利用の選定から漏れた申請者に対するサポートの必要性

## 柚木道義君（立憲）

- （1） 杉並区立小学校において校庭に打ち込まれたくぎで児童が負傷した事故に関し、第三者による定期的な安全点検及び全国的な緊急安全点検実施の現場への周知の必要性
- （2） ジャニー喜多川氏の性加害問題について
  - ア 現在検討中の児童虐待防止法の改正によって、親以外の第三者による性加害行為に対して警察への通報義務が課される場合の学校現場における対応について
    - a 学校現場における周知の在り方
    - b 学校現場における運用の課題
    - c 学校教員が周知の際に具体的な性加害事案について説明することの可否
  - イ 性被害及び性加害防止教育の推進における、同氏による性加害問題の原因等解明の重要性
  - ウ 性加害問題の再発防止について永岡文部科学大臣の見解
- （3） L G B T の理解増進法案について
  - ア かつて超党派で合意していた法案の内容と性を都合よく使い分けて女性専用スペースに侵入するといった犯罪の増加との関連性について永岡文部科学大臣の見解
  - イ 学校現場における L G B T の理解増進教育の取組及び性を都合よく使い分けた犯罪の増加の懸念に係る文部科学省の把握状況
  - ウ L G B T の理解増進教育推進に係る教育現場における対応
- （4） 特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律の一部を改正する法律案について

- ア 有期雇用労働者の無期転換を回避するための雇い止めに関する取組状況
  - イ ナノテラスを活用した若手研究者や女性研究者等の人材育成について
    - a 若手研究者や女性研究者等の研究への参画計画
    - b 若手研究者や女性研究者等に対する支援の取組状況
    - c ナノテラスの整備による若手研究者や女性研究者等へのメリット
  - ウ ナノテラスの利活用について
    - a ナノテラスの利用を希望する中小企業等のニーズの把握状況及び利用促進に向けた取組状況
    - b 中小企業等がナノテラスを利用しやすくするための支援策
  - エ ナノテラスのビームラインの将来的な整備計画における国と民間の利用配分に係る懸念
- (5) 衆議院の解散・総選挙が旧統一教会への解散命令請求に与える影響

#### 梅谷守君（立憲）

- (1) 特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律の一部を改正する法律案について
- ア SPring-8について
    - a 25年間の運用における課題
    - b 経済効果
    - c 産業利用の状況
    - d 民間企業による成果非公開型の有償産業利用の割合
    - e 具体的な産業利用の目標値
    - f 今後の在り方
  - イ ナノテラスについて
    - a 出資していない中小・ベンチャー企業による利用促進のため手厚いサポートを用意する必要性
    - b ナノテラスの研究環境のDX化の方針
  - ウ SPring-8において専用ビームラインを共用枠に転用することでビームライン設置者のコストを肩代わりすることについての永岡文部科学大臣の所見
- (2) 研究の自由と経済安全保障について
- ア 海外で技術獲得を行う国家が我が国の科学技術に対して狙いを定めて行っている活動の実態
  - イ 特定先端大型研究施設が技術の流出経路になる可能性
  - ウ ナノテラスをはじめとする重要施設において研究成果の流出を防ぐための対策を関係省庁等と連携して行う必要性
  - エ 国際頭脳循環と技術流出防止の両立についての永岡文部科学大臣の所見

#### 早坂敦君（維新）

- (1) 特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律の一部を改正する法律案について
- ア 軟エックス線領域及び放射光研究における日本の研究レベルの世界との差及びナノテラス稼働後の見通し
  - イ ナノテラスについて
    - a 地方に住む小中高生にオンラインでの見学会や実験の様子を流すなど広報・宣伝を政府全体で連携して行う必要性
    - b 特に中小企業を対象とする企業向けの税制面の利用促進策及び成果の公開の在り方
    - c 利用者選定の際の研究及び実験内容の審査体制及び審査に必要な期間並びに審査結果の公表方法
    - d 設置者が量子科学技術研究開発機構になった経緯
    - e ナノテラスにおける将来的な老朽化対策の想定と SPring-8 におけるビームラインの需要及び

- 設置に必要な時間並びに費用
- ウ SPring-8やその他の国内外の放射光施設での事故の状況及び情報共有体制
  - エ ナノテラスの利活用による東北の復興についての永岡文部科学大臣の見解
- (2) 科学技術の行政部門を仙台に移転することについての永岡文部科学大臣の所見
- (3) 日本の科学技術分野の未来についての永岡文部科学大臣の展望

**西岡秀子君（国民）**

特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律の一部を改正する法律案について

- ア 特定先端大型研究施設である SPring-8 の稼働状況及び代表的な研究成果並びに国民に周知し理解を得るための取組
- イ ナノテラスの建設の背景、今後期待される研究成果及び既存の特定先端大型研究施設との連携の方針
- ウ ナノテラスの施設の機器及び設備における国産製品の割合
- エ ビームラインの運用方法及び小中高校生を対象とする活用の方針
- オ 電気代高騰等による運用経費への影響に対する支援の方針

**宮本岳志君（共産）**

- (1) ナノテラスの整備費について当初の計画よりも宮城県及び仙台市の負担額が増えたことに対する永岡文部科学大臣の見解
- (2) 研究者の雇用に関する理化学研究所による卓越研究員事業への申請及び事業結果説明書について
- ア 5月22日の参議院決算委員会における永岡文部科学大臣の発言についての確認
  - イ 申請書及び事業結果説明書における研究者の雇用期間の記載内容の確認
  - ウ 卓越研究員事業の目的
  - エ 理化学研究所が事実と異なる説明により支援を受けたことに対する永岡文部科学大臣の所感
  - オ 理化学研究所が申請に基づいて受領した研究環境整備費の金額
  - カ 理化学研究所が事実と異なる説明により支援を受けたことに対する文部科学省の対応